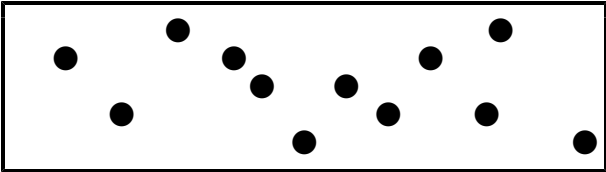
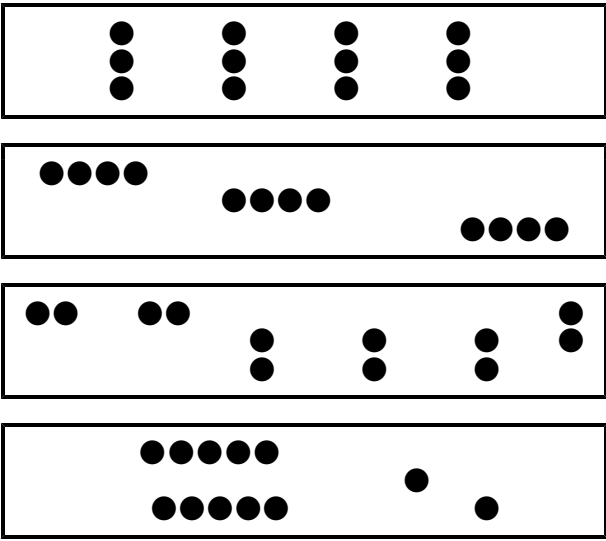


本時 (4/17)

(1) 目標

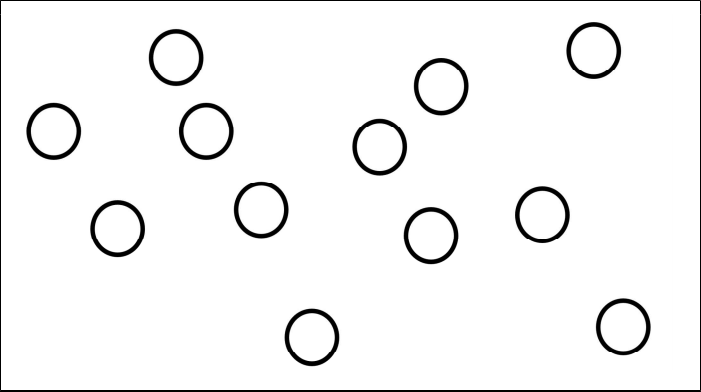
- ・総数が決まっている場合について、単位量のいくつ分ということを意識して乗法の式に表す。
- ・乗法の式で表せる場面を見て「1つ分の数」を設定し、乗法の式に表す。

(2) 展開

学習過程	学習活動 ○発問 ・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 ☆評価【方法】
問題の発見	<p>1 課題をつかむ。</p> <p>○ばらばらのメロンパンがあります。メロンパンはぜんぶでいくつありますか？</p>  <p>・消えるのが早すぎて数えられない。</p> <p>○では、一度だけメロンパンをきれいに並べ替えるチャンスあげます。どのように並べ替えますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10このまとまりを1つつくる。 ・一列に並べる。 ・2こずつのまとまりをつくって並べる。 ・3こずつのまとまりをつくって並べる。 ・5こずつのまとまりをつくって並べる。 <p>○今度はどうかな？ ぜんぶでいくつありますか？</p> <p>・予想される並べ方 (例)</p>  <p>○いくつありましたか？</p> <p>・12こ</p>	<p>◇パワーポイントで瞬時に提示し、総数を数えられない状況を設定する。</p> <p>◇一人を指名し、パワーポイントの●を並べ替えさせて、再び提示する。</p> <p>◇まとまりをつくると数えやすいことに気付かせたい。どうしても児童から出ないときは、教師が途中で並べ替え、続きを児童に予想させる。</p>
問題の解決	<p>2 ●の総数の求め方を、言葉の式や乗法の式で表す。</p> <p>○どうしてすぐに分かったのですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だってね・・・ □このまとまりが□つだから12こだとすぐに分かります。 ・□+□+・・・で12こだとすぐに分かります。 ・□×△というかけ算の式になって12こだと分かります。 <p>○えっ、どういうこと？ 今○○さんが言ったことは、こういうことだよって隣の人と確かめてごらん。</p>	<p>◇まとまりをつくると、ぱっと見てすぐに分かる理由を児童の言葉で語らせ、それを板書したり、黒板の図と結びつけたり、問い返し発問をしたりすることで本時の大切な見方・考え方の共有化を図りたい。</p>

<p>問題の解決</p>	<p>○ほかの並べ方はないですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっといい並べ方があります。 3が4つ → 3×4 → $3+3+3+3=12$ ・4が3つ → 4×3 → $4+4+4=12$ ・2が6つ → 2×6 → $2+2+2+2+2+2=12$ ・5が2つと、ばらが2つ → $5 \times 2=10$ $10+2=12$ ・6が2つ → 6×2 → $6+6=12$ ・10と2 → $10+2=12$ ・1が12こ → 1×12 → $1+1+\dots+1=12$ ・12が1つ → 12×1 → 12 <p>3 乗法の式で表せる場面をまとめる。</p> <p>○どのように並べ替えると、全部の数がわかりやすいですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまりに分けたとき。 ・「同じ数ずつ」のまとまりに分けたとき。 ・「同じ数ずつ」のまとまりが、ちょうど「いくつ分」かに並べ替えると分かりやすい。 	<p>◇指名した児童の並べ方とは異なる並べ方も取り上げ、式に表す。</p> <p>◇式に表すことが難しい児童は、答えが12個と分かった時点で、12個のおはじきを操作するように助言する。</p> <p>◇●の総数を求めるには、「1つ分の数」を決めて、その「いくつ分」で考えると分かりやすいことを、児童の言葉でまとめたい。</p> <p>◇乗法の式だけで表せる場合と、そうでない場合があることに気づかせる。</p>
<p>まとめ</p>	<p>4 乗法の式で表せる場面を見て、乗法の式で表し、総数を求める。</p> <p>○身の回りには、かけ算の式で表せる場面がたくさんありますね。かけ算の式に表してみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りんごの数 ・バスケットボールの数 ・整列したときの人数 など <p>5 振り返りタイム</p> <p>○最初は●がばらばらに並んでいて数えにくかったですが、おしまいにはすぐにどこか分かるようになりましたね。きょうはどのように考えたのがよかったのですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「同じ数ずつ」のまとまりが、「いくつ分」かを考えると、かけ算の式で表せるので、答えを出しやすい。 	<p>◇「1つ分の数」を自由に設定し、その「いくつ分」で総数を表す場面を設定する。</p> <p>☆「1つ分の数」やそのいくつ分を考えて式に表している。【観察・ノート】</p> <p>☆乗法の式で表せる場面を見て「1つ分の数」を設定し、立式しようとしている。【観察・ノート】</p> <p>◇総数は同じでも、「1つ分の数」をいくつにするかによって、いろいろなかけ算の式ができることにも触れる。</p>

ぜんぶの数が わかりやすい ならべ方 を 考えよう。



ばらばらだと、
わかりにくいね！

わかりやすい ならべ方に かえよう！

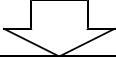


図 (○をかく)

しき

ほかにも ならべ方は ないかな？

上とは べつの図 (○をかく)

しき

ふりかえり